

Structure Kansai No.152 2022.1

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

2022年 迎春号



「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」



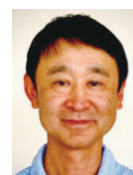
年頭のご挨拶
関西支部支部長

(株)大林組
大住 和正



年頭のご挨拶
関西副支部長

(株)山田建築構造事務所
宮崎 英也



年頭のご挨拶
関西副支部長

(株)日建設計
嘉村 武浩

新年あけましておめでとうございます。昨年とは新型コロナウイルス感染拡大の中、これまでの既成概念にとらわれることなく、できる限りの活動を模索しました。11月には例年の現場見学会にかわり、「芦屋～新神戸～三宮、ぶらり建物見て歩き」と題したオンライン建物紹介を行いました。この企画には他支部会員の皆様にも多数参加いただきました。オンラインでの活動の普及により、本部・各支部との連携がとりやすくなり、それぞれのイベントにも参加しやすくなってきました。距離による弊害が取り除かれ、JSCAの活動にも新たな可能性が出てきたように思います。現在、西日本の各支部と共同した企画・イベントを計画・実行中です。うまくこの流れを進めることがJSCA関西のDXにつながるのでしょうか。

今年にはJSCA関西支部設立40周年の記念すべき年となります。諸先輩方のご意思を引き継ぐとともに、新しい時代に順応した活動を行っていききたいと思います。

本年も会員の皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍により業務形態の大きな変化がありました。テレワーク、オンラインでの会議や講習会など、初めは戸惑いましたが、その利便性を新たに発見できました。しかし便利な反面、顔を突き合せてのコミュニケーションが如何に大切かを思い知らされた1年でもありました。JSCA関西でも分科会活動や講習会などは、ほぼオンライン形式で行って参りましたが、昨年末のコロナの収まりと共に徐々に対面形式へとシフトしつつあります。本年はオンラインによる他の支部との共同開催も企画しておりますので、会員の皆様も技術向上のためにぜひご参加ください。

2022年は壬寅（みずのえとら）です。「陽気を孕み、春の草木が生ずる」という意味があり、厳しい冬ほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。このコロナ禍を乗り越え、JSCA関西の活動も実りあるものとなるよう、試行錯誤しながら活性化させたいと思います。本年も引き続き皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。コロナウィルスの猛威が増す中明けた昨年は、ウイズ／アフターコロナへの適応に向けて苦慮しながら走り続けてきた1年であったのではないかと思います。ようやく年末に向けて出口が見えかけてきたところだったのですが、残念ながらオミクロン株が登場し、不透明な状況がまだ続きそうです。

ウイズ／アフターコロナへの適応に加え、2050年カーボンニュートラルに向けた温室効果ガス削減に向けた対応努力が昨今求められてきています。我々構造技術者が二酸化炭素排出量削減にどう貢献できるのか真摯に向き合い、考えていく必要があります。これには待ったなしの対応が求められています。この難題に向けて、様々な視座を持ったJSCA関西会員が集い、情報交換、意見交換を行い、それがCO2削減に繋がって、地球環境保全に貢献できるならばこの上ないことだと思います。

本年も引き続きJSCA関西の活動への積極的なご参加、ご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



技術委員長
株式会社 日建設計
吉田 聡

■技術委員会の活動状況と活動方針

JSCA関西技術委員会は、現在9つの分科会で構成されており、分科会メンバーによる情報・意見交換会と、分科会メンバー以外のJSCA会員に門戸を広げた拡大分科会（見学会や研究会等）を主な活動としています。2021年は、昨年に引き続きコロナ禍の中、会員の皆様のご要望にお応えすべくWEB会議による非密集型での分科会活動をメインに行ってきました。緊急事態宣言解除後、感染者数も減少に転じた12月には久しぶりの拡大分科会を開催しました。また2022年2月には、2019年5月以来となる対面型の支部デザイン発表会を計画しています(後日録画データのWEB配信も予定)。支部デザイン発表会で発表されたい方の申込み期限は1月21日です。会場で聴講される方の申込みも募集しておりますので奮ってご参加ください。引き続き分科会活動へのご理解・ご協力、また、拡大分科会へのご参加、よろしくお願いいたします。



(一財)日本建築
総合試験所
岩佐 裕一

■地盤系分科会

新年あけましておめでとうございます。2020年度より主査を務めさせていただいております岩佐です。地盤系分科会は、設計事務所・ゼネコン・基礎関係の専門家等の多岐にわたる業種の方々とメンバー構成され、現在26名で活動しています。例年は年3,4回程度の分科会活動として、設計事例や新工法の技術紹介を行ったりすることが主ですが、2021年度は、関心の高い基礎の二次設計に関連して、杭の終局耐力や変形性能に関わる学識者の講演をZOOM視聴したり、拡大分科会として12月10日には大阪市立自然史博物館を訪問し、施設見学と学芸員の講演「大阪平野の地層と気候変動の歴史」を聴講しました。拡大分科会は分科会メンバー以外のJSCA会員11名を加え、総計27名が参加しました。コロナ禍での分科会活動ですが、WEB形式以外の参加型企画を今後も検討していきます。基礎・地盤について、関心のある方は分科会にぜひご参加ください。



株式会社 北條建築
構造研究所
橋本 宗明

■RC系分科会

あけましておめでとうございます。昨年5月より分科会活動を再開し、5、8、11月と3か月に1回のペースでオンライン形式にて分科会を開催してきました。本年も同じペースで開催していく予定です。新型コロナウイルスの状況によりはありますが、出来れば対面での分科会開催に切り替えていければと考えています。

当分科会では、メンバーでトピックを出し合い、各社1トピックを担当し、持ち回りで分科会を開催しています。

昨年は、トピックとして高強度せん断補強筋、コンクリートのひび割れ、日本建築学会のRC配筋指針の改定をとりあげました。メンバー同士、遠慮なく、活発な意見交換ができました。

気兼ねなく参加できる分科会ですので、ご興味のある方、参加お待ちしております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



(株)竹中工務店
九嶋 壮一郎

■金属系分科会

新年あけましておめでとうございます。昨年より主査を務めています、竹中工務店の九嶋です。金属系分科会は、賛助会員の方を含め34名で活動を行っています。設計事務所、ゼネコン構造設計部、確認審査機関の会員に加え、高炉メーカー・建材会社の方々にも賛助会員として参加頂いており、多様な背景・観点を共有しながら、鋼構造を中心とした最新の設計事例の情報交換や賛助会員の方からの新商品のご紹介等の活動を順次進めています。

2022年はトップランナーご講演として、KAP代表・構造家岡村仁様にご登壇頂く予定をしています。withコロナ下であり、会場とzoomでのハイブリッド開催が続きますが、オンラインでの参加しやすさは増していますし、工場や作業所での現地・現物確認も考えていますので、興味がある方はお気軽にご連絡ください。



主査
株式会社 フレーム
ワークス
篠原 昌寿

■情報システム分科会

当分科会は一貫構造計算プログラムや構造設計に関連する解析プログラムおよびBIMに関する内容を中心に活動してまいりましたが、解析プログラムの多様化やBIMの高度化に伴いまして、新たな主査を迎えて分科会メンバーも増強をしまして、より広範囲な情報を扱う分科会としてリニューアルをする予定です。このため現在は活動を休止しておりますが、分科会活動の再開につきましては技術委員会にて調整中ですので具体的な内容が決定しましたら、あらためてお知らせをさせていただきます。

構造設計に関連するプログラムやBIMに関して興味のある方や、これらについて情報を有する方には是非とも情報システム分科会にご参加をいただきまして、JSCA関西の会員間での情報交換や共有にご協力をいただきたいと考えております。



株式会社イオリ建築
設計事務所
平石 浩二

■耐震設計分科会

耐震設計分科会は、現在16名で、年4回の開催を目標に活動しています。

主な活動内容は、耐震設計に関する最新情報の収集です。たとえば、免震・制振建物の現場見学、設計事例紹介、講師を招いての勉強会、工場見学などです。また、これら活動を通じて会員同士の交流を図ることも重視しています。懇親会では和気あいあい、意見交換から業界裏話まで貴重な情報交換の場となっています。

2021年度は、感染症対策を取りながら、4月、12月に設計事例紹介、7月に球面すべり支承(SSB)見学会を開催しました。また、3月に現場見学会等を開催予定です。

2022年度も積極的に活動していきたいと考えていますので、『参加してみたいなあー』と思った方は、最終ページのJSCA関西事務局へご連絡ください。

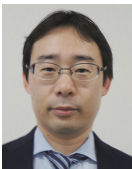


(株)大林組
古島 正博

■PC・工業化分科会

PC・工業化分科会は、プレキャスト、プレストレストコンクリート、工業化などをキーワードとした分科会です。メンバーは現在19名で、ゼネコン設計部・設計事務所で構造設計をされている方や、構造系の大学教員、第三者機関、PC専門メーカーの方などで活動しています。分科会は年に3回程度開催しており、2021年は、コロナ禍で現場見学会が中止となったプロジェクト紹介、プレストレストを用いた設計事例の紹介などをオンライン会議で行いました。コロナの状況にもよりますが、2022年は対面での活動を再開したいと考えています。

PCの経験のない方もおられると思いますが、分科会活動を通じてPCの理解を深めることができます。当分科会の活動に興味を持っていただいた方、最終ページにJSCA関西事務局の連絡先がありますので、是非ご連絡ください。よろしくお祈りします。



株式会社山田建築
構造事務所
田中 政寛

■構造計画分科会

構造計画分科会は、現在約20名のメンバーで年3～4回の開催を目標に活動しています。

主な活動内容は、実際に設計した事例を設計者に紹介していただき、質疑応答などによる意見交換を通じて、構造計画や構造設計に関する広い知識の共有と各人の技術レベルの向上を目指しています。設計事務所、ゼネコンの構造設計部や大学関係者など、様々な立場の方々から構成されていますので、他の構造設計者の苦労や工夫を感じるだけでなく、いろいろな情報を得ることができ、勉強になります。

昨年はコロナの影響もあり、前半は活動できず7月と11月の2回の開催となりました。本年は、オンラインも活用しながら、積極的に活動していきたいと考えています。

新規メンバーも募集していますので、興味のある方はぜひJSCA関西事務局までご連絡下さい。



(株)ヤマダ
ホームズ
石田 健吾

■木構造分科会

木構造分科会では、会員構成を若手会員中心に据え、構造設計者だけでなく意匠設計者や施工者（JSCA会員で関西支部所属）も参加しています。自らの手がけた設計施工事例の成果を相互に報告・発表し、様々な木造建物の設計や改修などの日常活動の報告や問題点についての研究調査・議論を通して、木造設計者の学習・研究機会を増やすことを主眼に置いています。また、性能規定型設計法である限界耐力計算を基軸に木造のもつ本質に迫り、安易な補強に頼ることなく、木材・木造がもっている長所を生かして、本来の木造の美しさ、しなやかな力強さを構造設計の観点から再評価するために、知識・技術の向上を図ってもらうことを目指しています。ストック型社会への転換のなか、分科会の活動で得た知識・技術と、京都市、大阪府や奈良県等にも採用されている「JSCA関西木造耐震マニュアル」により、既存木造建物の保全にも貢献しています。



(株)竹中工務店
岸本 光平

■法制分科会

法制分科会は現在10名程のメンバーで、3～4か月に1回程度の分科会を開催しています。実務に携わる構造設計者間の情報交換や、新聞雑誌他の報道記事について、その本質的な問題は何か、構造設計者として何をしなければならないのか、何ができるのか等について議論しています。2021年は全てリモート開催でした。法制分科会には弁護士で一級建築士でもある先生にアドバイザーとしてご参加いただいております。「建築構造設計と法律」を、構造設計者の現実的な視点から議論しながら、ご指導をいただくこともあります。また、リモート会議が普通のものとなったこともあり、本部の法制委員会にオブザーバ参加する機会もあります。ぜひ皆さまも法制分科会にご参加ください。そして、メンバーそれぞれが持ち寄ったテーマについて議論を深め、自分自身の身を守るとともに、より良い建築構造法制の在り方を模索してみませんか。

『JSCA関西オンライン建物紹介』における
事業委員会の取り組みについて



株式会社 日本設計
上森 博

事業委員会の今年度の目標として「オンラインにチャレンジ」を掲げ、例年実施している現場見学会は、現地に赴くのではなく、オンラインやビデオ配信で実施できないかと考えました。

現場の施工状況や設計、施工者の声をオンラインで如何に伝えるかということになりますが、オンラインでのライブ配信では内容の吟味ができないこと、ビデオ配信の場合も編集が必要となることから、チャレンジの内容としてかなりハードルが高いことがわかりました。

そこで、できることからコツコツと！の精神に立ち返り、竣工後の建物をオンラインで紹介することにしました。

建物の選定では、神戸三宮阪急ビルと竹中大工道具館新館の2物件が早々に決まったのですが、竣工後間もない建物と年数を経た建物との組み合わせにじっくりこないものがありました。

2物件の立地が三宮と新神戸であったことから、三宮に程近い旧竹中大工道具館に増築された収蔵庫別館と芦屋市の臨海部に位置する芦屋ベイコート倶楽部のチャペルを加え、「芦屋～新神戸～三宮、ぶらり建物見て歩き」と題し、阪神間の街並みを辿り4つの建物を紹介する企画とすることになりました。

大阪梅田から尼崎→西宮→芦屋(ここで芦屋物件を紹介)、神戸市東灘区→灘区→中央区(ここで神戸3物件を紹介)の順にGoogle Earthを用いて各地域を俯瞰し、阪神間の地理や交通等の説明を交えて進行

しました。

ウェビナーを用いたオンライン形式の企画は昨年度の新年研究会で経験しており、本番までに準備すべき事項については学習ができていました。また、前回問題となったJSCA関西事務局のWifi環境についても既に改善されており、通信に関し対処すべきこともありませんでした。ただし、事業委員会メンバーの大幅な入れ替わりにより、ウェビナーの操作に関しては、共同ホストでスイッチャー役の鈴木さん、西本さん、発表者として司会を務めた私にとっても1からのスタートになりました。役割の理解からはじまり、発表者の切り替えやカメラと音声のオン、オフのタイミング、質疑応答の操作等、本番直前リハを含めると事前に3回の練習会を設定し発表者の方々と交え反復練習を行いました。

本番では、発表者の機器不具合に伴うデータ共有不能の事態に際し、迅速に対応できなかったことが反省点として挙げられます。また、質疑応答の方法に関しても一考の余地があります。事前打合せでは挙手のみとし質問者の生の声を配信しようと考えていたのですが、本番のウェビナー設定がチャットでの受付も可となっていたことから、挙手とチャットによる質疑応答となりました。質疑が少なかったことから結果的にはよかったのですが、今後のオンライン企画の課題といえます。

以上、反省点や課題は残ったものの、発表者の皆様の力量によるところが大きいのですが、創意工夫に満ちた4つの建物の設計内容、施工時の状況や苦労話、竣工後の設計者の想い等について、十分にお伝えすることができたのではないかと思います。

オンラインの良さは遠隔地でも企画に参加できることです。今回も参加者235名の内、関西支部以外から125名(北海道6名、東北7名、関東甲信越78名、中部16名、四

国2名、中国7名、九州9名)の参加をいただきました。今後もこの利点を活かしオンラインでの企画を模索したいと考えています。

最後に発表をお引き受けいただき、練習にもご協力いただきました発表者の皆様に厚くお礼を申し上げます。



芦屋ベイコート倶楽部 チャペル
発表者：日建設計 佐々木隆允さん



竹中大工道具館新館
発表者：竹中工務店 増田寛之さん



収蔵庫別館
発表者：竹中工務店 白田雄作さん



神戸三宮阪急ビル
発表者：大林組 中村吉秀さん



■会員紹介



氏名 阪田扶佐子
勤務先 株式会社山田建築構造事務所
趣味 メダカの飼育、
ガーデニング

私は建築学科卒ですが、現在の仕事は経理・総務・人事など、構造設計以外の業務全般を行っております。勤務歴20年の節目に外の世界に目を向けたいと思い、JSCAに入会致しました。入会と同時に広報委員となる機会に恵まれ、初めてのことでばかりで緊張しておりますが、会議への出席や、ストラクチャー関西の過去分を読みながら少しずつ勉強しております。委員となって喜ばしいことの1つは社内にいるだけでは決して知り合うことのない先輩方との交流です。同業者同士での豊富な情報交換によって成長し、会の一員としてお役に立てればと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



氏名 木原 隆志
勤務先 (株)竹中工務店
趣味 サッカー観戦(TV)

入社して11年目、構造設計に携わって10年目になります。木造住宅からスタジアムまで、幅広い用途・規模・構造形式の建物の設計を経験することができています。

構造デザイン発表会への参加を機に2018年にJSCAへ入会しました。今後は、デザイン発表会だけでなく、見学会や分科会などJSCAの活動に参加し、構造設計者としての知見を広げるとともに、社外の構造設計者の方々との交流により人脈を広げられればと思います。

構造設計者として、まだまだ未熟なところもありますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



氏名 野口 梯子
勤務先 株式会社大林組
大阪本店構造設計部
趣味 ロッククライミング、
素潜り、乗馬

JSCAへの入会は、2015年デザイン発表会への参加がきっかけでした。若手構造設計者にとって自身の作品をプレゼンできる貴重な機会であり、有意義な質疑・アドバイスをいただいたのを覚えています。その後は、JSCA法人化30周年記念事業のシンポジウムを若手部会の一員として企画しました。他社の構造設計者の方々と意見交換をし、また、他社の動向を伺うことができ、大変刺激になりました。

2020年より大阪本店勤務となり、11月にはさっそくJSCA関西現場見学会に参加させていただきました。

いつも素晴らしい機会をご提供いただいているJSCAに感謝申し上げますとともに、引き続きのご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

■JSCA中堅構造設計者研修会の報告



(株) 鴻池組
河井 翔太郎

JSCA中堅構造設計者研修会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策のためZOOMで参加致しました。

講習内容は、技術基準解説書の構成に沿って事例を交えながら、鉄骨、RC、木造、基礎などの設計上の注意点をメインに扱われていました。日頃の設計業務の中で、一度は触れたことのある内容が大半でしたが、普段触れることの少ない知識(木造など)を再確認できたことはいい機会になりました。また、講習の終盤には、構造設計一級建築士の試験対策も盛り込まれていたため、受験生には最適内容になっていました。

講義スタイルはZOOMであるため、一方通行の講義であり、単調になりがちでしたので、演習などを織り込んでもう少しメリハリがあれば、なお良かったと思えました。



(株)山田建築構造事務所
小澤 陽子

私たちが構造設計を行う上で指針とする「建築物の構造関係技術基準解説書(通称黄色本)」はおよそ800項に及びます。本の分厚さと条文独特の言い回し故に、全てを正しく理解し運用するには多くの時間と労力を要します。この度参加させて頂いた「JSCA中堅構造設計者研修会スキルアップセミナー」では、この黄色本に記載されている内容の要点がまとめられたテキストに沿って説明をして頂きました。活字だけでは理解するのが難しい所も図解を交えた概要の説明は解りやすく、構造設計に必要な知識を得ることができました。当セミナーは、元々構造設計一級建築士講習の修了考査対策として始まり講義内容が構成されていて、セミナー後には修了考査についてのアドバイスもあるなど、修了考査を受ける者にはとても有効であると感じました。



(株)イオリ建築設計事務所
福田 誠一

2021年度JSCA中堅構造設計者研修会一スキルアップセミナーに使用されたテキストは、多岐にわたる内容を簡潔に纏められており、後に振り返りやすい構成でした。セミナーの最後には、構造設計一級建築士講習の修了考査に対する過去の出題傾向や、今年度から出題形式等が変更される事に対しても別冊の資料に簡潔に纏められており、受験者に対しても大いに役立つものだったと思います。構造設計業務に追われる日々の中で、構造設計者としてスキルアップしながら、細心に独習研鑽して行かなければならないことを心得ているとは言え、まとまった時間を取れていなかったことにあらためて気づかされました。その中で、振り返ることができたのは、非常に有意義なセミナーになりました。これからも構造設計者として精進したいと思います。

●事務局だより

- 1.支部総会** 開催なし
- 2.支部幹事会**
11月12日(金)(18:00~19:00)
Zoom会議
- 3.運営会議**
10月1日(金)(18:00~20:05)
Zoom会議
10月29日(金)(18:00~19:56)
Zoom会議
11月26日(金)(18:00~19:40)
Zoom会議
12月24日(金)予定(18:00~20:00)
Zoom会議
- 4.事業委員会**
10月18日(月)(17:30~19:00)
Zoom会議併用
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局
内容:オンライン建物紹介のウェビナー
練習・研修会企画について
11月2日(火)(17:00~19:00)
Zoom会議併用
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局
内容:オンライン建物紹介のウェビナー
練習
11月8日(18:00~19:00)
Zoom会議併用
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局
内容:事業報告資料の確認・研修会企画
について
12月13日(月)(18:00~19:15)
Zoom会議併用
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局
内容:オンライン交流会企画・若手技術者
育成講座について
- 5.技術委員会**
10月25日(月)(18:00~20:00)
ZOOM会議
内容:各分科会活動報告、本部技術委員
会の報告、JSCA関西構造デザイン
発表会について
12月20日(月)(18:00~20:00)
ZOOM会議
内容:各分科会活動報告、本部技術委員
会の報告、JSCA関西構造デザイン
発表会について
- 6.広報委員会**
10月20日(水)(18:00~19:00)
Teams会議併用
場所:鴻池組会議室
内容:1. Structure Kansai NO.152号
編集会議
2. Structure Kansai NO.153号
企画会議
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西部会**
12月15日(水)第108回(18:00~
19:00)

- 場所:安田ビル2階JSCA関西事務局
内容:耐震診断・補強計画判定の報告
- 8.木造住宅レビュー委員会**
10月19日(火)(16:30~19:00)
場所:株SERB会議室
内容:耐震設計レビューと実務講習会等
11月18日(木)(17:30~19:30)
場所:株SERB会議室
内容:耐震設計レビューと実務講習会等
12月21日(火) 予定(16:00~18:00)
場所:株SERB会議室
内容:耐震設計レビューと実務講習会等
- 9.構造レビュー委員会** 開催なし
- 10.大震研委員会** 本年度は休会
- 11.研究会・記念事業** 開催なし
- 12.現場見学会**
11月5日(金)(14:00~16:15)
Zoomウェビナー
JSCA関西支部オンライン建物紹介
「芦屋~新神戸~三宮、ぶらり建物見て
歩き」開催
- 13.支部報**
Structure Kansai No.151(2021.10)
発行
Structure Kansai No.152(2022.1)
発行予定
- 14.技術委員会各分科会**
- 地盤系分科会**
12月10日(金)(14:30~16:40)
場所:大阪市立自然史博物館
内容:博物館施設見学(地盤関係を含む)、
講演聴講「大阪平野の地層と気候
変動の歴史」(学芸員石井陽子氏)
- RC分科会**
11月17日{水}(18:00~20:00)
場所:Zoom会議
内容:コンクリートのひび割れ、日本建築
学会RC造配筋指針改定など
- 金属系分科会**
10月15日(金)(18:00~19:30)
場所: ZOOM会議
内容:分科会メンバーの好きなディテール
の紹介、鉄建協意見交換会の内容
報告
- 情報システム分科会**
開催なし(活動休止中)
- 構造計画分科会**
11月26日(金)(18:00~19:00)
場所:竹中工務店B1階T'sイノベーション
サロン
内容:タクマビルを例に中層木質構造の
事例紹介
- 耐震設計分科会**
12月24日(金)予定(15:00~17:30)
場所:竹中工務店B1階T'sイノベーション
サロン

- 内容:プロジェクト紹介、くるま座談会
- PC・工業化分科会**
11月9日(火)(18:00~19:10)
場所: リモート会議
内容:現場打ちPC工法による設計、施工
事例報告
- 木構造分科会**
10月19日(火)(14:00~16:00)
場所:SERB会議室
内容:薬医門の耐震性、元傾斜問題に
ついて
12月20日(月)~24日(金)の間で予定
場所:枚方市K邸改修工事見学(随時)
- 法制分科会**
9月16日(木)(18:00~19:00)
場所:リモート開催
内容:マンション管理の適正化の推進に
関する法律ほかについて意見交換
11月30日(火)(18:00~19:00)
場所:リモート開催
内容:働き方改革に伴う建設業界における
時間外労働の上限ほかについて意見
交換

※下線付きは拡大分科会を示す。

- 15.サテライト活動**
・奈良会 開催なし
・京滋会 開催なし
・兵庫会 開催なし
- 16.講習会**
・木造軸組構法の新しい耐震設計法が
マスターできる実務講習会
12月1日(水)
- 17.親睦会** 開催なし
- 18.関連団体との交流**
在阪建築15団体会長・支部長午餐会
11月1日(月) Web会議

●編集後記

お忙しい中、執筆にご協力いただきました
皆様に厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルスは変異株の出現もあり
依然として収束していません。withコロナで
デジタル技術を活用した活動も定着してきま
したが、本年は通常の生活に戻り、対面での
活動も再開され、よりコミュニケーションを活
性化する活動が展開されますことを祈ります。
まだまだ寒さが続きますので皆様ご自愛く
ださい。(橋本、慶)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会
関西支部事務局
〒550-0003
大阪市西区京町堀1-8-31(安田ビル)
Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224
Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp
URL <http://jscakansai.com/>